

資料 1

大口利用者に対する特別料金制度等について

流山市、大分市における大口利用者に対する特別料金制度の実施について

1 大口利用者に対する特別料金制度実施の背景

地下利用専用水道の導入コスト低下や災害対策等における水源の二重化により、工場等の大口水道利用者の水道水離れが進んだと言われている。

日本水道協会の調査によると給水人口 10 万人以上の水道事業者における水道水から、地下利用専用水道への転換件数は平成 18 年度から比較すると 1,117 件増加している。

2 地下水利用専用水道増加による影響

水道水の大口使用者が地下水利用専用水道に切り替えた場合、水道事業の給水量が減少し、それに伴い給水収益も減少する。また、バックアップ用として水道を利用する場合でも、これに対応できる施設を整備しておく必要があり、整備に係る固定費をほぼ回収できない状態となり、結果的に一般の水道利用者への負担につながる可能性が有る。

また、浄水場の施設能力の余剰を発生させる可能性が有る。

3 地下水利用専用水道増加による対策

水道料金減額制度

流山市、大分市においては、大口使用者の内、一定水量を超過した場合、基準水量を超えた水量について低額な料金単価で提供する制度を採用している。

○流山市の概要

・適用要件

直近の 1 年間における 1 か月当たりの使用水量が、基準水量の 500 m³ を超える使用実績があるか、または使用実績が明らかである場合。

・水道料金の単価設定

基準水量 500 m³ を超える水量 1 m³ あたりの従量料金
320 円→200 円

○大分市の概要

・適用要件

次のいずれかに該当すること

- ① 地下水と水道水を併用している

- ② 平成 28 年度に年間 3,000 m³以上の使用実績がある
- ③ 平成 29 年度以降に年間 3,000 m³以上の使用実績がある
- ④ 平成 29 年度以降に新たに水道を使用開始し、年間 3,000 m³以上の使用見込みがある
- ・水道料金の単価設定
基準水量（各使用者の状況による）を超える水量 1 m³あたりの従量料金
385 円→230 円（最大単価と比較）

○この他、地下水利用専用水道増加による対策として、減額等制度がある団体

- ・神奈川県企業庁
- ・岡山市水道局
- ・北九州市下水道局
- ・福島市水道局 ほか

4 秩父広域水道局における、大口利用者に対する措置について

秩父地域において、地下水利用専用水道使用者増加に伴う、料金収入の減少は把握されていない。

ただし、今後、人口減少に伴う水需要減少、給水収益の減少は確実であり、企業等大口利用者の利用を促進、拡大することにより、減少による余剰分の収益化を計ることも経営を安定させるための一つの方策ではないかと考えている。

そこで、今回の答申（案）に盛り込んでいるが、料金改定を実施するうえで、従量料金の通増度を緩やかにすることにより、一般使用者と企業等大口利用者との負担の公平を図るとともに、大口使用者の負担の軽減、利用拡大ができるものと考えている。